



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年11月9日

上場会社名 株式会社 セック

上場取引所 東

コード番号 3741 URL <http://www.sec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋山 逸志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 管理本部長 (氏名) 酒井 俊司

TEL 03-5491-4770

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	2,287	12.7	205	57.1	221	54.9	138	41.5
29年3月期第2四半期	2,029	2.1	130	53.6	142	51.1	97	49.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	26.99	
29年3月期第2四半期	19.07	

(注)平成28年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	5,993	5,088	84.9
29年3月期	6,087	5,122	84.2

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 5,088百万円 29年3月期 5,122百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		36.00	
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				28.00	28.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年3月期期末配当金の内訳 普通配当 26円00銭 記念配当 10円00銭

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	1.7	500	15.5	520	14.0	360	14.5	70.32

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	5,120,000 株	29年3月期	5,120,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	510 株	29年3月期	510 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	5,119,490 株	29年3月期2Q	5,119,490 株

(注)平成28年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成29年11月28日(火)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料はTDnetで同日開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国情報サービス業の業況は、経済産業省「特定サービス産業動態統計」によると、平成29年4月から7月の月別売上高は前年同月比で増加し、8月は昨年度の反動で微減となりましたが、IT需要は全体的には概ね堅調に推移していると推察されます。当社事業分野では、官公庁案件をはじめとした社会基盤システム分野や、車両自動走行を中心とした宇宙先端システム分野の需要環境は好調でした。

こうした傾向の中、当社は、重点テーマであります「既存の分野で業績を支え、オープン・イノベーションで事業成長を目指す」を実践し増収増益となりました。

ビジネスフィールド(以下、ビジネスフィールドをBFと省略)別には、モバイルネットワークBFは、移動体通信事業者向けのサービス系の開発が好調で、売上高は768百万円(前年同期比6.7%増)となりました。インターネットBFは、民間企業向けの開発案件が減少し、売上高は413百万円(同5.6%減)となりました。社会基盤システムBFは、官公庁案件や医療分野の開発が増加し、売上高は673百万円(同27.4%増)となりました。宇宙先端システムBFは、車両自動走行の研究開発案件が堅調であることに加え、ロボットの研究開発案件の開発が増加し、売上高は431百万円(同26.3%増)となりました。

この結果、全社売上高に占める割合では、社会基盤システムBFと宇宙先端システムBFが上昇し、その他のBFが低下しております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高2,287百万円(前年同期比12.7%増)、営業利益205百万円(同57.1%増)、経常利益221百万円(同54.9%増)、四半期純利益138百万円(同41.5%増)となりました。

ビジネスフィールド(BF)別売上高

ビジネスフィールド	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
モバイルネットワーク	720,752	35.5	768,859	33.6
インターネット	438,221	21.6	413,895	18.1
社会基盤システム	528,758	26.1	673,497	29.4
宇宙先端システム	341,696	16.8	431,723	18.9
計	2,029,429	100.0	2,287,976	100.0

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

ビジネスフィールド(BF)別受注状況

ビジネスフィールド	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
モバイルネットワーク	924,241	155.0	502,830	214.9
インターネット	455,322	103.3	215,616	100.3
社会基盤システム	846,390	126.2	890,891	145.6
宇宙先端システム	474,122	106.0	245,798	93.9
計	2,700,077	125.3	1,855,135	140.3

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の総資産は、前事業年度末に比べ93百万円減少し、5,993百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加93百万円、受取手形及び売掛金の減少318百万円などによる流動資産の減少223百万円、投資その他の資産の増加130百万円などによる固定資産の増加129百万円によるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ60百万円減少し、904百万円となりました。これは主に、買掛金の減少63百万円などによる流動負債の減少84百万円と、固定負債の増加23百万円によるものであります。

純資産は、四半期純利益による増加、配当金支払いによる減少などの結果、前事業年度末に比べ33百万円減少し、5,088百万円となりました。自己資本比率は前事業年度末の84.2%から84.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比べ93百万円増加して、四半期末残高は2,743百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は397百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益221百万円及び売上債権の減少321百万円による増加、法人税等の支払額94百万円による減少によるものであります。前年同期と比較して9百万円の収入増となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果支出した資金は120百万円となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出100百万円によるものであります。前年同期と比較して109百万円の支出増となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果支出した資金は183百万円となりました。これは、配当金の支払い183百万円によるものであります。前年同期と比較して51百万円の支出増となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間における業績は計画通りに推移しており、通期の業績予想につきましては、平成29年5月12日の「平成29年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,649,570	2,743,074
受取手形及び売掛金	1,791,489	1,473,291
商品及び製品	—	1,106
その他	149,758	150,267
流動資産合計	4,590,819	4,367,739
固定資産		
有形固定資産	50,801	45,945
無形固定資産	17,288	21,127
投資その他の資産		
投資有価証券	780,464	899,628
その他	647,786	658,775
投資その他の資産合計	1,428,250	1,558,404
固定資産合計	1,496,340	1,625,477
資産合計	6,087,160	5,993,217
負債の部		
流動負債		
買掛金	207,076	143,476
短期借入金	36,000	36,000
未払法人税等	111,085	84,257
賞与引当金	201,000	221,000
その他	255,254	241,609
流動負債合計	810,416	726,343
固定負債		
役員退職慰労引当金	84,209	88,959
資産除去債務	13,561	13,651
その他	56,489	75,272
固定負債合計	154,260	177,883
負債合計	964,677	904,227
純資産の部		
株主資本		
資本金	477,300	477,300
資本剰余金	587,341	587,341
利益剰余金	4,046,578	4,000,432
自己株式	△293	△293
株主資本合計	5,110,926	5,064,780
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,556	24,209
評価・換算差額等合計	11,556	24,209
純資産合計	5,122,482	5,088,990
負債純資産合計	6,087,160	5,993,217

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	2,029,429	2,287,976
売上原価	1,546,171	1,681,049
売上総利益	483,257	606,927
販売費及び一般管理費	352,344	401,318
営業利益	130,913	205,608
営業外収益		
受取利息	2,790	2,811
受取配当金	456	587
不動産賃貸料	2,067	1,951
受取出向料	7,380	10,476
その他	892	756
営業外収益合計	13,587	16,583
営業外費用		
支払利息	396	323
不動産賃貸費用	740	733
その他	594	6
営業外費用合計	1,731	1,063
経常利益	142,770	221,128
税引前四半期純利益	142,770	221,128
法人税、住民税及び事業税	42,054	68,945
法人税等調整額	3,067	14,028
法人税等合計	45,121	82,973
四半期純利益	97,648	138,155

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	142,770	221,128
減価償却費	6,457	10,569
賞与引当金の増減額(△は減少)	△9,000	20,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,620	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,125	4,750
受注損失引当金の増減額(△は減少)	20,000	—
前払年金費用の増減額(△は増加)	△11,091	△9,419
受取利息及び受取配当金	△3,247	△3,398
支払利息	396	323
売上債権の増減額(△は増加)	574,840	321,494
たな卸資産の増減額(△は増加)	—	△1,106
仕入債務の増減額(△は減少)	△156,693	△63,600
未払金の増減額(△は減少)	△8,503	△16,028
未払消費税等の増減額(△は減少)	△37,465	17,668
その他	△8,986	△13,048
小計	505,982	489,333
利息及び配当金の受取額	3,213	3,368
利息の支払額	△397	△327
法人税等の支払額	△120,655	△94,960
営業活動によるキャッシュ・フロー	388,142	397,413
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△975	△7,668
無形固定資産の取得による支出	△8,174	△9,908
投資有価証券の取得による支出	△857	△100,926
敷金及び保証金の差入による支出	△135	△1,569
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,141	△120,073
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	200,000	150,000
短期借入金の返済による支出	△200,000	△150,000
配当金の支払額	△132,759	△183,842
財務活動によるキャッシュ・フロー	△132,759	△183,842
現金及び現金同等物に係る換算差額	△520	4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	244,720	93,503
現金及び現金同等物の期首残高	2,574,413	2,649,570
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,819,134	2,743,074

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。